

10・3京都大集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年9月4日
No.401

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/



「4学生処分撤回! 京大第2波ストへ!!」
9/1~2全学連大会うち抜く!

9月1日~2日、全学連第77回定期全国大会が東京都内で行われた。日帝・安倍政権が改憲と朝鮮戦争参戦に突進することに対し、韓日11月国際共同行動が呼びかけられる歴史的情勢のただ中で開催され、2日間の白熱的討論を通して「4学生処分撤回! 改憲・戦争阻止の第2波京大ストへ!」という鮮明な方針をうち立て、強固な団結を固めて大成功した。

大会1日目は、会場入口での警視庁公安部の暴力的襲撃を徹底弾劾し、冒頭に坂野書記長が「総括」議案提起を行った。「安倍政権の改憲攻撃に対し、『革命』を真っ向から対峙して闘い、昨年の安保国会決戦をはるかに凌駕する大決戦をつくり出そう」「朝鮮戦争の臨戦体制突入に対する11月労働者国際共同行動の決断と一体で、今次大会をかちとろう」と大会の歴史的立場が明らかにされ、昨年の安保国会決戦以降の1年間の闘いを全面的に捉え返し、「この場のすべての仲間が日本に

のゼネスト指導部に飛躍しよう」と熱烈に呼びかけた。

続いて、斎藤委員長が「情勢」議案で、「朝鮮侵略戦争の切迫」「イギリスのEU離脱」「7・26相模原やまゆり園事件」「8・8天皇メッセージ」という現情勢の四つのメルクマールを確認し、「資本主義は終わっている——支配者たちの危機を見据えよう」「『戦後』幻想をうち破り、労働者階級の立場で鮮明に登場しよう!」と核心的立場を提起した。

最後に、京大反戦スト処分当該である作部副委員長が「方針」議案で11月国際共同行動の重要な意義を確認し、5年間の同学会運動と京大ストは「分断・搾取・戦争に対して国際連帯とゼネストで闘い、すべてをひっくり返す革命をやるのか」をかけた闘いだったと総括した。「10・3京大集会は、学内に国際連帯とゼネストで闘う階級的労働運動の陣形を登場させ、処分撤回・改憲阻止の第2波バリストへ力関係の転換をかちとる闘

4学生への無期停学処分撤回!

10・3京都大集会

10月3日(月)11時50分 京大本部クスノキ前集合
12時 集会開始

12時45分 第2回署名提出行動

【主催】京都大学全学自治会同学会中央執行委員会



いだ！」という行動提起に激しい賛同の拍手が寄せられた。

議案提起後、活発な討論が始まった。討論の中心は改憲阻止決戦と京大決戦だ。京大派遣団の仲間は、「8・25京大闘争と京都市内デモで秋の改憲阻止決戦の火ぶたはきられた。京大決戦を階級決戦に押し上げよう」と訴え、京大から初参加の仲間は「京大当局に未来はない。学生しか変革の主体はない。第1波ストは意義あるものだったが、第2波ストへ京大生と



<全学連新執行体制>

委員長 斎藤 郁真 (法政大学・法)
副委員長 赤嶺 知晃 (沖縄大学・法経)
同 森田 寛隆 (広島大学・教育) ※新
同 武田 雄飛丸 (法政大学・国際文化) ※新
書記長 作部 羊平 (京都大学・工) ※新
書記次長 森 幸一郎 (京都大学・理)

の団結をより深めていこう」と全国学生に呼びかけた。法政大学文化連盟委員長の武田雄飛丸君は「公安刑事の暴力的襲撃こそ、京大ストへの恐怖のあらわれだ。『民主主義』をかたって実力闘争を妨害する勢力をのりこえて闘おう」と訴えた。

初参加者の学生からは、「公安刑事への怒り、被処分者の怒りを共有したい」「地元の友人に京大署名を呼びかける」「全学連は社会に必要な団体だ」「信じられるものは階級闘争のみだ」「行動力のある全学連とともに闘いたい」「同年代の仲間がこれほど決起していることに勇気づけられる」と発言が相次いだ。

大会では、7月参院選決戦を闘った鈴木達夫弁護士が記念講演を行った。鈴木弁護士は2012年の自民党改憲草案批判をベースに、「戦争か革命か」の時代認識を重厚に提起された。

大会の最後に、今秋決戦を先頭で闘う新執行部が選出された(表)。坂野書記長が今大会で退任し、新書記長に作部羊平君(京大同学会委員長)が就任した。新副委員長には、武田雄飛丸君と森田寛隆君(広島大自治会委員長)が就任した。京大第2波ストを切り開く新執行体制が圧倒的拍手で確認された。

今大会は第一に、今秋決戦を闘う強力な新執行体制を確立した。第二に、京大4学生への処分撤回をかちとるため、10月3日の京大本部時計台前集会と第2波ストへの総決起方針をうち立てた。改憲阻止決戦の主戦場として処分撤回闘争を闘うことが最大の行動指針となった。第三に、11・6-12の韓日国際共同行動の画歴史的意義を踏まえ、京大決戦を基軸に改憲阻止闘争を徹底的な国際連帯で貫こうと一致した。第四に、革命的時代認識とマルクス主義について重要な討論が行われた。第五に、国家権力・警視庁公安部の悪辣な大会妨害策動をはね返し勝利した。総じて、全学連運動が改憲阻止決戦と京大決戦の爆発で全国学生の主流派＝多数派に飛躍することを固く誓い、今秋決戦の大爆発への出発点を築いた。全国学友はいざ、10・3京大集会と11月国際共同行動へ！

【当面する行動方針】

●9・16法政大開講日デモ～京大闘争連帯～

9月16日(金) 12時半 法大市ヶ谷キャンパス集合 13時 デモ出発(13時半終了予定)

●“市東さんの農地死守!” 10・9三里塚全国集会

10月9日(日) 正午～ 三里塚現地・反対同盟員所有地にて

【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟



国境をこえた団結で朝鮮侵略戦争と労働法制改悪阻止へ!

11・6全国労働者総決起集会

11月6日(日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂

民主労総11・12労働者大会

11月12日(土) ソウル



<呼びかけ> 全国民主労働組合総連盟ソウル地域本部(民主労総ソウル地本)／国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)／全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)／全国金属機械労働組合港合同(港合同)